

2025年2月10日  
株式会社伊予鉄グループ

## 新型鉄道車両 7000系 出発式について

株式会社伊予鉄グループ（本社：松山市、代表取締役社長 清水一郎）は、郊外電車に新型鉄道車両 7000系を6両（2編成）導入します。2027年までに合計18両（6編成）導入する計画で、総投資額は約40億円となります。

第一弾となる導入車両の運行開始を記念し、下記の通り松山市駅にて出発式を行います。

### ■出発式

1. 日 時 2025年2月21日（金）13時30分～14時

2. 場 所 松山市駅 1番ホーム

3. 来 賓 国土交通省 四国運輸局長 河野 順 様  
愛媛県知事 中村 時広 様  
松山市長 野志 克仁 様  
伊予市長 武智 邦典 様  
東温市長 加藤 章 様  
松前町長 田中 浩介 様  
近畿車輛(株) 代表取締役社長 吉川 富雄 様

4. 式典内容 ①主催者あいさつ（株伊予鉄グループ 代表取締役社長 清水 一郎）  
②来賓祝辞  
③テープカット  
④出発進行（列車見送り）

5. 試 乗 会 出発式の前に、古町駅（13時20分発）～松山市駅（13時24分着）で、式典参加者による試乗会を行います。

### ※報道各社様

試乗会の取材は13時に古町駅にお越しください。

新型車両に乗車し、式典会場の松山市駅までご乗車・撮影可能です。

別添の取材申込書でご連絡ください。

■お問い合わせ：伊予鉄グループ広報室：TEL：089（948）3290

## ■ 新型車両 7000 系について

### 1. 車両デザイン

人に優しいバリアフリー設計。脱炭素化に向けた省エネ性能向上。乗ってみたいくなる未来型流線形のフォルム。オレンジ色のカラーリングにより愛媛らしさを表現しています。



### 2. 投資額

約 40 億円 ※2025 年～2027 年の 3 年間合計

### 3. 車両製造

近畿車輛株式会社

### 4. カーボンニュートラルに向けた省エネ性能の向上

- ・ 車両の省エネ性能の向上により、消費電力を約 50%削減し、カーボンニュートラルに貢献
- ・ 軽量ステンレス製車体で VVVF 制御、回生ブレーキなど環境性能を向上
- ・ 非化石電源由来の実質的に再生可能エネルギー 100%かつ CO2 フリーの電気を使用

### 5. バリアフリー

車椅子スペース、LCD 車内次駅案内表示器などバリアフリー基準適合車両です。

### 6. 英語表記・アナウンス

行先・次駅案内の英語表記、英語車内アナウンスにより、外国人観光客に対応します。

### 7. 車内にデジタルサイネージ

全扉上部にデジタルサイネージを導入し、中吊り広告の無い広々とした車内にします。

### 8. 導入路線

郊外全線（横河原線・高浜線・郡中線）

〈参 考〉

項 目	新型車両7000系	旧車両（700系）
車両寸法 （1両 長さ×幅）	18m×2.7m	18m×2.7m
車 体	ステンレス製	鋼鉄製
照明設備（車内灯・前照灯等）	LED	蛍光灯、白熱球
空調設備（マイコン制御装置）	○	×
制御装置	VVVF制御・回生ブレーキ	抵抗制御
熱線吸収ガラス窓	○	×
補助電源装置 （静止型変換装置）	SIV （高効率化による省エネ型）	SIV （非省エネ型）
車両情報制御装置	○	×

〈導入スケジュール〉

2025年2月21日	6両（1編成3両×2編成）	
2026年2月	6両（1編成3両×2編成）	
2027年2月	6両（1編成3両×2編成）	合計18両（6編成）

※新型車両導入に伴い700系車両は順次廃車します。

※今年度は環境省の国庫補助金を活用。

次年度以降は環境省及び国交省の国庫補助金を活用予定。

以上